

99-262

問題文

64歳男性。大腸がんのため腫瘍摘出手術を受けた。その後、外来にてオキサリプラチン・カペシタビン療法を半年間続けている。

問262

処方された抗悪性腫瘍薬の作用機序として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 微小管を安定化し、細胞分裂を抑制する。
2. DNA鎖に架橋を形成し、DNA複製を阻害する。
3. 血管内皮増殖因子(VEGF)を阻害し、血管新生を抑制する。
4. 生体内で5-フルオロウラシルに変換され、DNA合成を阻害する。
5. ジヒドロ葉酸還元酵素を阻害し、プリン合成系を抑制する。

問263

薬剤師が患者と面談中、「最近、朝の洗顔時、水が手先にぴりっとすることがあります。また、手足の皮膚が硬くなり、ひび割れが起きました。」との訴えがあった。この患者の症状の原因として最も可能性が高いのはどれか。1つ選べ。

1. オキサリプラチンによる骨髄抑制に伴う症状
2. オキサリプラチンによる末梢神経障害
3. カペシタビンによる手足症候群
4. カペシタビンによる下肢浮腫
5. カペシタビンによる皮膚粘膜眼症候群

解答

問262：2, 4問263：3

解説

問262

オキサリプラチン（エルプラット）は、白金製剤の一種です。アルキル化剤と類似した作用機序を示します。DNAに架橋を形成することでDNA合成を阻害する薬です。

カペシタビン（ゼローダ）は、代謝拮抗薬の一種です。肝臓及び腫瘍細胞で代謝を受け5-FUへと代謝活性化されて効果を示します。

以上より、正解は2,4です。

ちなみに、選択肢1の作用機序を持つのはドセタキセルなどのタキサン系の抗がん剤です。

又、選択肢3の作用機序を持つのは、ベバシズマブ（アバスタ）のような抗VEGF抗体です。

選択肢5の作用機序を持つのは、メトトレキサートのような葉酸代謝拮抗薬です。

問263

手足の皮膚が硬くなったり、はがれたりするといった症状や、手や足のしびれや感覚の異常といった症状からこれは、手足症候群であると考えられます。手足症候群を起こす可能性がある代表的な薬はカペシタビンや、キナーゼ阻害剤です。

以上より、正解は3です。